令和5年度第4回理事会議事録

1. 日　時：令和5年10月31日（火）18：00-19：30
2. 出席者：奥沢悦子、吉田泰憲、木村正彦、須藤安史、逆井久美子、川口裕美、佐藤舞、

高松みどり、小山内誠、津嶋里奈、中村安孝、中村忠善、國分慎、四釜育与、

田村栄子、鹿摩悟、齋藤浩治

1. 欠席者： 齋藤賢、吉岡治彦、石山雅大

定款第5章第32条及び諸規定により、議長に奥沢会長があたり、書記に高松理事が指名され、審議が行われた。審議は、オンラインで行われた。

【報告事項】

1. 学術部経過報告

吉田学術部長より以下の項目について報告・提案があった。

①各研修会について

　　　前回理事会以降から今後予定されているものまで日臨技システムに登録されている研修会の報告があった。

　　②凝固に関するアンケート

　　　ホームページでも告知しているが現在凝固に関するアンケートを実施している。回収率をあげるため、今回は封筒代・郵送代は青臨技より支出している。結果は何らかの形で報告をしてもらうこととなっている。

　　③精度管理調査

　　　回答があったのは74施設（重複2施設）で、参加64施設（フォトサーベイのみ3施設）、不参加8施設。スケジュールは11月11日（土）梱包・発送（八戸赤十字病院）、11月13日（月）AM中に各施設到着予定、回答締切12月1日（金）17：00。今回のサーベイで前山生化学部門長よりドライケミストリー法での精度管理のためメーカーに試料を発送し測定してもらいたいとの要望があったと報告があった。中村（忠）理事より青臨技とメーカーとの契約や覚書などの必要性の有無、COI等利益相反について、齋藤監事より測定結果の取り扱いについて意見があった。反対意見はなかったが、上記の点を前山部門長に確認し承認することとなった。

　　④論文投稿

　　　論文内容の一部修正について提案があり了承され、執筆者に修正をお願いすることとなった。また今年度から使用しているテンプレートでは、論文と写真等の差し込みが上手く出来ず、それぞれ提出されてきている。現在査読を進めているが、会誌編集時に差し込んでいくことは可能かとの提案があった。逆井理事より印刷会社で金額は高くなるが、編集も行ってくれるところがあるので確認したらどうかとの提案があった。田村理事より他の編集委員と相談し、確認するとの回答があった。

1. 公益部経過報告

木村公益部長より高校生心電図検診、野球肘検診に関して以下の報告があった。

令和5年度の高校生心電図は無事終了。令和6年度は各支部からの意見をもとに現在医師会と学校で調整中。野球肘検診に関しては齋藤監事より弘前の12月3日（日）が5名と少し不足している。弘前管内の技師に呼び掛けてほしいとの報告があった。

1. 渉外部経過報告

須藤渉外部長より以下の項目に関して報告があった。

①検査と健康展

　日時：2023年11月19日（日）10：00～14：00

　場所：八戸ショッピングセンターラピア

　内容：検査体験（尿検査、100回分）、顕微鏡鏡検、パネル展示

　当日スタッフとしてAM6名、PM3名を予定。

②政策渉外関連事項における現状把握のための調査

　　　規模により4つの病院に調査をお願いなければならないが、決定しているのが1施設のみ。奥沢会長より締め切りも迫っているため、各施設に働きかけ早めに決定できるようにとの発言があった。

4.　事務局経過報告

　　逆井事務局長より以下の報告があった。

　　①現在の会員数

　　②賛助会員

　　　現在32社の申し込みがきている。インボイス制度に関係し、領収書の再発行依頼があった。内税で表記することで今後も対応していく。また、来年度の申し込みは4月より行う。

　　③HP更新

　　　更新当初はトラブルがあったが、現在は問題なく運営できている。

　　④令和6年度奨励賞・功労賞について

　　　奨励賞は、前年の3月までの単位計算となるため早めに文書を発行することとなった。功労賞対象者のリストが逆井理事より提示され、各自確認することとなった。

　　⑤永年会員について

　　　定年が延長になっていることもあり、見直しが必要。永年会員に関しては定款にも記載があるため改定も含め検討することとなった。

5.　奥沢会長より報告

　　①北日本支部学会

　　　今年度は福島で開催。県内より8題の演題登録があった。サイボウズにも書き込んだが、技師連盟ブースの11月4日（土）11：00～12：00の１時間が青森県の担当。石山監事が担当してくれるが、理事の中で学会に参加される方がいらっしゃったら協力をお願いしたい。

　　②日本医学検査学会

　　　R6年度の日本医学検査学会はパシフィコ横浜で開催。国際学会の誘致が決定し、担当が北日本支部、支部の中でまだ担当していない県が青森・岩手となる。国際学会も決定しているため日臨技主体で開催してもらえないか交渉する予定。

【議題】

1.　 研修会の開催方法

　　　奥沢会長より、今後の研修会についてWEBや対面どのように実施していくか提案があった。吉田学術部長より今回血液部門の研修会が現地開催となっているが、人がなかなか集まっていないと報告があった。約3年間、WEB開催の研修会であったため、みんながそれに慣れてしまっていることもあるのではないかと思う。今後もWEBを活用しながらになるのではないかと思うとの意見があった。高松理事より今回は現地開催の部門だが、WEB開催の場合も案内文書に参加費として青臨技非会員は6000円と記載されているが、今まで他県からの参加の場合はどうしていたのかと質問があった。協議の結果今後は日臨技会員であれば青臨技会員と同じとすることとした。

【その他】

1.　タスクシフト・シェア

齋藤監事より、11月26日（日）弘前大学保健学科で開催。現在定員の60名が満席となっている。弘前大学の教員の方が前日・当日とお手伝い、見学で参加するとの報告があった。

2.　県学会

　　國分理事より前回の報告より特に進捗はないとの報告があった。

3.　ニューリーダー研修会

　　逆井理事より2024年1月28日（日）に八戸で開催予定。研修会内容については時間も考え詳細をつめていくとの報告があった。

上記の事項について理事に了承を求めたところ、出席者全員が異議なく了承された。

議長は以上をもって審議を終了したことを告げた。

会長 印

監事 印

 印